



2022年8月10日

各位

会社名 東ソー株式会社
代表者名 代表取締役社長 栗田 守
(コード番号 4042 東証プライム)
問合せ先 広報室長 松岡 克行
(TEL:03-5427-5111)

2022～2024年度 中期経営計画の概要

東ソー株式会社は、2022年度から2024年度を対象期間とする中期経営計画を策定しましたので、その概要を下記の通りお知らせいたします。

記

1. 目指す収益構造（～2030年度）

- コモディティは収益事業として定着も、今後は脱炭素対応に注力
スペシャリティで1,000億円超の利益基盤構築を目指す

2. 経営基本方針

- ハイブリッド経営を基本としつつ、スペシャリティの収益拡大に注力
 - ・ 【コモディティ】 “事業強化”と“CO2排出削減”を最適な組合せで実施、適正なコスト負担・価格転嫁による安定供給維持
 - ・ 【スペシャリティ】 比較優位のある事業への能増投資、成長分野への経営資源重点配分、新規事業の育成により収益基盤を拡充
- CO2排出削減・有効利用に向け総力結集
 - ・ 脱炭素対応を全方位から推進、持続可能な社会の実現に向け企業責務を全うする
- 健全財務に依拠した攻めの投資
 - ・ 脱炭素下では事業環境が大きく変動、この変化を好機と捉え、タイムリーな戦略投資で将来への布石を打つ
- 安全基盤の強化、安全文化の定着・深化
 - ・ プラントの安全操業は全てに優先、安全基盤の強化、安全文化の定着・深化に向け取り組み継続

3. 数値目標

		(億円)		《参考》前中計の達成状況	
		2021年度 実績	2024年度 目標	2021年度 目標	差異
売上高		9,186	11,600	8,900	286
営業利益		1,440	1,500	1,100	340
営業利益率		15.7%	10%以上	10%以上	達成
ROE		17.1%	10%以上	10%以上	達成
前提	ドル	112	125	110	2
	ユーロ	131	135	125	6
	ナフサ	56,875	75,000	46,000	10,875

4. 投融資計画

- 2022-2024年度3ヵ年累計投資額 = 設備投資 2,000 億円 + M&A、脱炭素追加対応
- スペシャリティを中心に積極投資を展開、設備投資にはCO2 削減投資 300 億円含む
- M&Aはバイオ関連を中心に探索

【主な設備投資計画】

《通常投資》

- ・ CR(増設)
- ・ 臭素・難燃剤(増設)
- ・ 分離精製剤(増設)
- ・ ジルコニア粉末(増設)
- ・ MDIスプリッター海外設置
- ・ ターゲット(米国能増)
- ・ 石英素材・加工品(能増)

《CO2 削減投資》

- ・ 循環流動層ボイラへの更新
- ・ ガスタービン追加設置
- ・ COプラントCO2 原料化設備導入

5. 研究開発

- 「ライフサイエンス」「電子材料」「環境・エネルギー」を重点3分野に据え、研究開発資源を集中投下
- 「研究インフラの有効活用」「MI技術による材料設計効率化」「オープンイノベーションの推進」「ファンド等を活用した先端技術の獲得」により、研究開発を加速

6. 株主還元

- 安定配当を基本とし、自己株取得による資本効率向上にも努める
- 配当性向は30%を目安とする
- 自己株取得はフリーCFの水準等を勘案して機動的に実施する

7. 脱炭素対応(CO2 削減目標)

- 2030年度30%削減(2018年度比)に向け具体的な施策を実施
- 現行技術での30%削減は発電設備燃料の木質バイオマス転換が主体、循環流動層ボイラ導入で燃料多様化を図る
- CO2原料化は化学メーカーの使命、優先度を上げ取り組み強化

《注意事項》

本資料の計画は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想です。従いまして、今後の国内外の経済情勢や予測不可能な要素等により、実際の業績は計画値と大幅に異なる可能性があります。

以上